

令和6年8月2日(金)子ども環境体験ツアー「自然と触れ合う地球ドクター」

日 程

豊川市役所 → もりの^{まなびや}学舎(長久手市)

→ あいち環境学習プラザ(名古屋市北区) → 豊川市役所

当日の様子

今回の子ども環境体験ツアーは小学生14名が参加しました。

午前中は長久手市の愛・地球博記念公園内にある「もりの学舎」へ行きました。ここでは、インタープリター(森の案内人)の方と森の中で様々な体験をすることができます。



今回は、園内にある様々な植物の手触りを体感しました。まずは森に出かける前に自分の手帳を作りました。森の中ではハチやウルシなど危険な動物や植物に注意しながら、自分が気に入った植物を採集して手帳に添え、皆で手触りを確かめました。

森での体験を終えると、もりの学舎の教室に入り、ムササビにちなんだフリスビーを作りました。フリスビーの生地いっぱいにはムササビのイラストを描きました。ムササビの図鑑を見ながら、皆熱心に描いていました。

また、インタープリターの方がもりの学舎周辺の森は昔、木を燃料として使うために伐採されてほとんど木が無くなっていたことや、人の手で苗木を植えて再び森になったことも皆に教えてくれました。

午後は名古屋市にある「あいち環境学習プラザ」へ行きました。こちらの施設では実験などを通して環境について学ぶ、参加体験型の環境学習講座を行っています。今回の講座のテーマは地球温暖化ですが、この他にも水と空気のこと、生物多様性のこと、ごみと資源のことなど、地球上の様々な環境問題やSDGsについて学ぶことができます。



今回はソーラーカーの工作を通して地球温暖化について学びました。まず始めに、私たちが毎日の生活で使っている電気は主に火力発電所で石油や石炭を燃やしてつくられていることや、電気をつくるときに二酸化炭素などの温室効果ガスが発生すること、地球温暖化のしくみなどについて学習しました。また、太陽光発電や風力発電など温室効果ガスを出さない発電方法も教えてもらいました。

ソーラーカーの工作では、牛乳パックを切ってペットボトルキャップの車輪を取り付け、小さなソーラーパネルとモーターを載せて繋ぎました。皆真剣に作業に取り組み、最後は全員ソーラーカーを走らせることができました。

工作の後は、地球温暖化を防ぐために自分にできることを皆で考えて発表しました。

参加者の声（参加者アンケートより抜粋）

- ・ 森のことや自然についていっぱい知れた。
- ・ 工作がいっぱいあっておもしろかった。
- ・ いろいろなことを学べたから楽しかった。
- ・ 地球かんきょうのことが学べてよかった。

・・・など